



3

碧南のめざす次世代育成支援ビジョン

〔 I 〕 基本姿勢

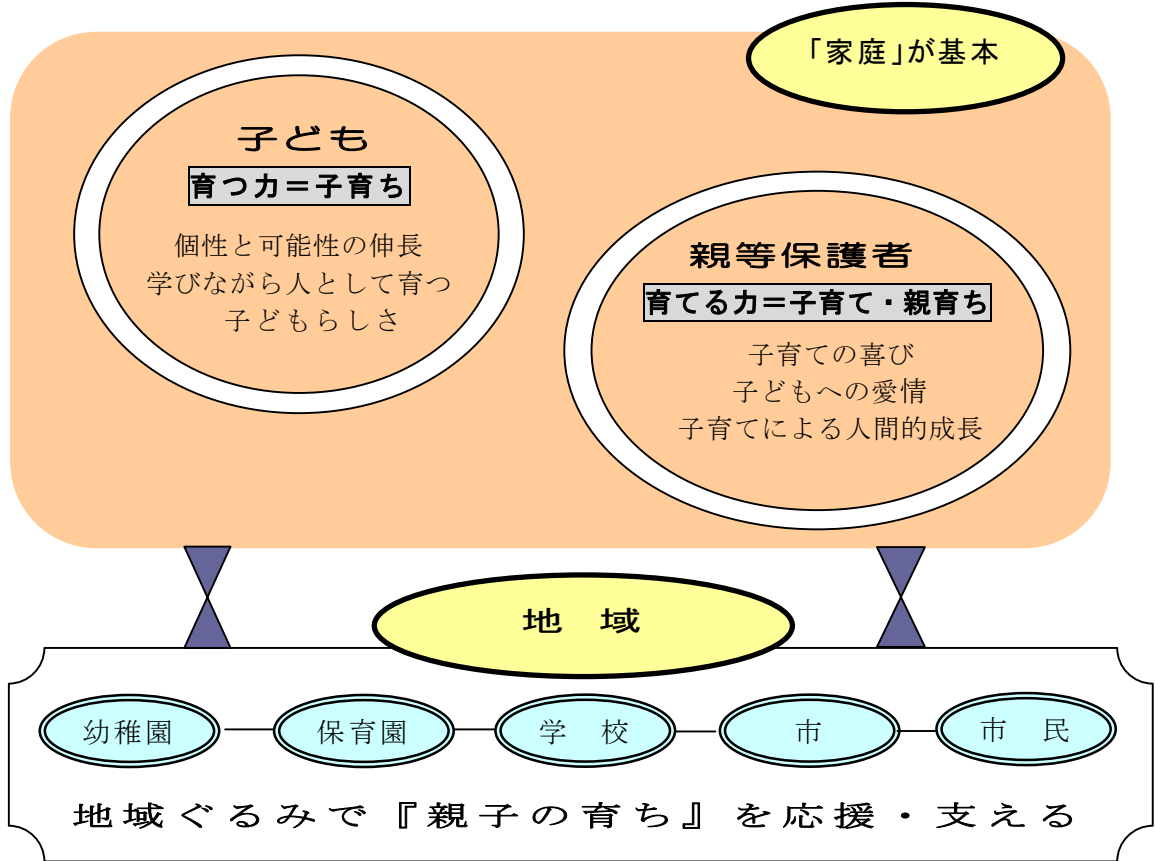
(1) 子育て・子育て・親育ちのとらえ方

すべての碧南市の子どもが一人ひとりの個性と可能性を伸ばし、健やかに育つことが第一のテーマです。そのためには、親などの保護者が愛情をもって子どもを育てることが重要です。そして、親子の育ちに地域がどのように関わり、地域で育っていくかということも重要なテーマです。

子どもはみんな育つ力をもって誕生し、子どもが育つ場所は「家庭」が基本であることはいうまでもありません。家庭を中心に、子どもの育つ力（子育て力）を、親が子を育てる力（子育て力）で引き出し、学びながら子どもは育ちます。

親の子育て力は潜在的にはもっていると思われませんが、めまぐるしく社会変化が進み、育児環境が変化している状況で、その力を育てたり、気づく機会が乏しくなっているといえます。ですから、人や組織、場所、機会など地域の様々な資源が子どもと子育てに関わり、親子の育ちを応援することが今最も大切だと考えます。あわせて、『親育ち』は子どもが成長して親になることをふまえ、一人の人間としての成長と次代の親を育てることととらえています。

子どもは親の宝であり、碧南市の宝でもあります。子どもたちをとりまく環境がめまぐるしく変化するなか、子どもの育ちに関する親たちの悩みや不安、不登校やいじめ、犯罪の被害など、全国的に表面化している様々な社会問題は、子どもたちへの直接的な影響が懸念されており、子どもにとって最も身近な「地域（＝碧南市）」でも起こりうることです。これに対応するには、家庭と地域・幼稚園・保育園・学校・市の連携が不可欠であり、地域を基本に子どもが健やかに成長し、子どもたちの笑顔で市全体が明るくなるように取り組んでいきます。



(2) 基本視点

碧南の子育ち・子育て・親育ちの展開にあたっては、様々な施策・事業を進める上で以下の視点を基本とします。

① 子どもの視点

すべての場面で子どもの幸せを第一に考え、子どもの利益が最大限に尊重されるよう配慮します。そして、特に子育ては男女が協力して行うべきものであるという視点に立って取り組みます。

② 次代の親を育てる視点

子どもは成長して次代の親となる存在であり、豊かな人間性を形成し、自立して家庭をもてるよう、子どもの健やかな育ち・成長の視点を重視します。

③ 地域で支援する視点

父母等の保護者が子育てについての第一義的責任を有するという基本的認識の下に、市だけでなく企業・地域全体が協力して取り組むべき共通の課題として、協働で取り組むことが不可欠です。

④ すべての子どもと家庭への支援の視点

子育ての孤立化等を防ぐことなどをふまえ、広くすべての子どもと家庭への支援という視点で推進します。

⑤ 地域における社会資源の効果的な活用の視点

地域で子育てに関する活動を行っている子育てサークル、子ども会、各種ボランティア団体、児童委員等をはじめとする地域の人の力と、保育園・幼稚園、児童センター、学校等の施設を地域資源として十分かつ効果的に活用します。

⑥ サービス利用者の視点

子育て家庭の生活実態や子育て支援サービス利用者のニーズの多様化と、子育て家庭の就業形態による特性に配慮し、利用者の視点に立った柔軟で総合的な取り組みに努めます。

⑦ サービスの質の視点

利用者が安心してサービスを利用するには、サービスの量だけでなく、サービスの質の向上が重要です。そして、サービスの質を高めるために、評価の仕組み、人材育成、情報公開などを取り入れて推進します。

(3) 子どもと子育て家庭の思い

子どもの視点、次世代を育てる視点を重視し、子ども自身や子育て家庭、地域が思っていることを十分ふまえて取り組むとともに、子育て家庭と地域の意欲的な参加・協力により、碧南の子育ち・子育て・親育ちの取り組みは相乗効果が期待されます。子どもと子育て家庭・地域の思いを市全体で感じ、今後の推進につなげていきます。

♥子ども・子育て家庭・地域の思い♥

子どもたち

- ◇楽しく、充実した学校生活を送りたい。
- ◇子どものことを理解できる大人になりたい。
- ◇親切で誠実な大人になりたい。
- ◇都会っぽい田舎の碧南になってほしい。
- ◇子どもが安心して遊べる所をつくってほしい。

子育て家庭

- ◇家族が育児を手伝ってくれて感謝している。
- ◇もう少し育児を手伝ってくれとありがたいな。
- ◇遊び場が近くにあるといいな。
- ◇安心して遊べる場所があるといいな。
- ◇育児の仲間や相談できる人がいると安心できる。

地 域

- ◇市民の声を取り入れて子育てしやすい環境にしてほしい。
- ◇親子が安心して集まれる場所があるとよいのでは。
- ◇地域が子どもたちを守ることも大切だと思う。
- ◇昔と子どもを取り巻く環境が大きく変わった
- ◇元気っスへきなんやごみの分別などからも、碧南は地域のつながりがあるので、子どもたちに地域が関わっていけるようにしたい。



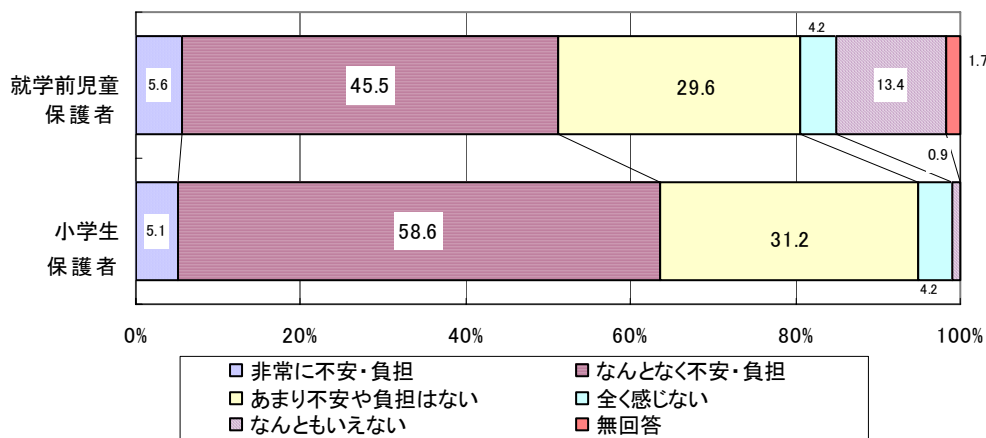
〔Ⅱ〕重点課題と基本方向

(1)重点課題

子育て家庭は、なんとなく不安や負担を感じながら子育てをしている様子が意識調査からうかがえます。また、理想よりも実際の子ども数が少ない主な理由は、経済的な負担が大きいこと、仕事・育児・家事の両立が難しいことが主な原因ととらえている市民が多いことがわかりました。前回平成13年の調査でも同様の結果がみられ、子育て家庭の負担感を取り除くことこそが重点的に取り組むべき課題と考えます。

このためには、子育て家庭のもつ様々な負担感を軽減するための側面的な支援をはじめ、子どものために親子の育ちをめざして総合的に推進し、親が育児を楽しみ、碧南の子どもたちが健やかに成長し、幸せを感じられる環境づくりが重要です。

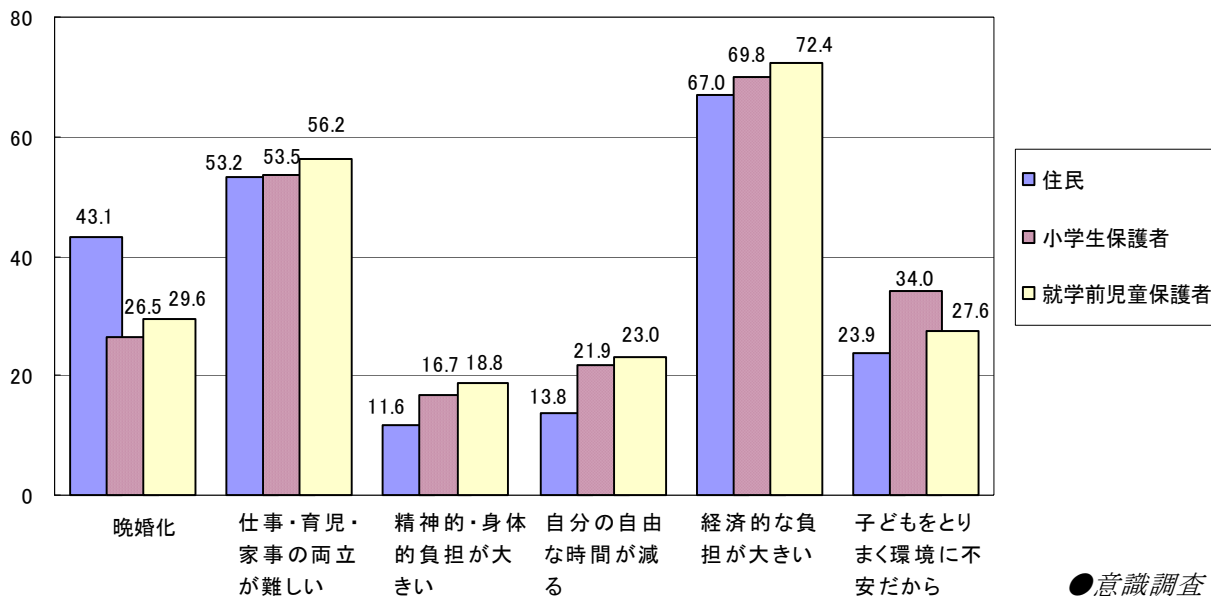
♡子育て家庭の負担感♡



●意識調査

♡理想の子ども数よりも実際の子どもが少ない理由♡

(%)



●意識調査



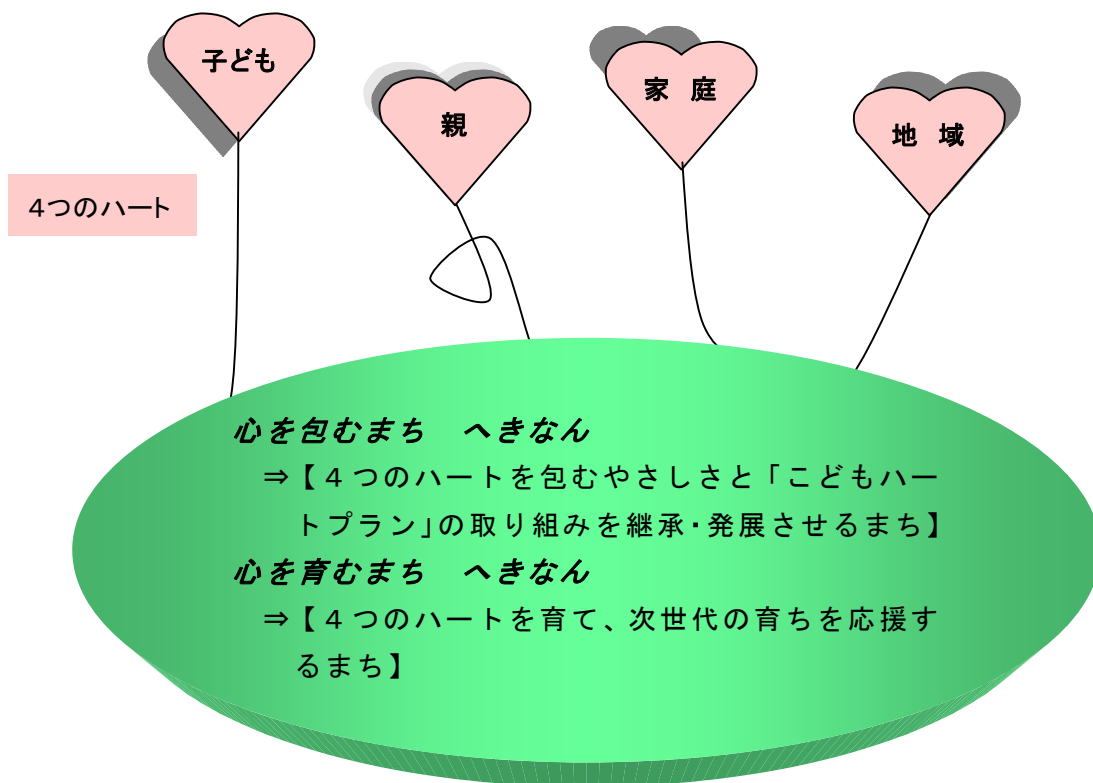
(2)基本理念

こどもハートプランの「子どもを生むなら碧南市 子育てするなら碧南市」から、次世代育成支援の理念をふまえ、基本理念を『心（ハート）を包み 心を育むまち へきなん』とします。そして、心（ハート）は子どもの心、親の心、家庭の心、地域の心、4つの心を大切に、4つの心をやさしく包みこみ、子育て・子育て・親育ちを応援する碧南市をめざします。

♡基本理念♡

心を包み 心を育むまち へきなん

【へきなん 次世代ハートプラン】



基本理念を実現するためのキーワード

子育て

子育て

親育ち



(3) 基本目標

「こどもハートプラン へきなん」の4つの基本目標の柱を基本に、新たな取り組みを盛り込んで碧南市の次世代育成支援を展開します。

① 基本目標：1 ^{すこ}健やかっこ

子どもを生むなら碧南市をめざすなかで、大きな課題は健康であり、それは子どもと母親をはじめ市民全体の健康づくりが「健やかっこ」に必要な条件といえます。さらに、子どもの健やかな成長発達と育児を支援するための保健活動を図り、思春期の子どもの心身の健康づくりにも取り組みます。

また、人として生まれ、育つ過程で、その人らしさと人が尊重される社会の形成をめざすとともに、様々な問題への対応力を高めます。

② 基本目標：2 ^{そだ}育ちっこ

子どもが育つ環境を考えると、家庭を中心に幼稚園・保育園も主な場所といえます。子どもが育つ家庭を中心に、男女が共に子育てに携わること、子育て家庭の雇用環境も視野に入れ、保育園など子どもが育つ環境を向上して子どもの家庭での健やかな育ちを支援します。

また、家庭以外で子どもが育つ場として幼稚園・保育園は、集団生活による協調性を養う意味もあり、保育サービスの充実とあわせて、幼稚園・保育園が新たな連携を結び、「育ちっこ」を応援します。

③ 基本目標：3 ^{かがや}輝きっこ

子どもは原石で、磨けば人それぞれ個性的な光を放ちます。子どもの可能性と個性を遊びや教育により引き出すことが、親や大人の役割です。このため、成長段階に応じた教育・学習の場を充実させ、子どもたちの自主的な活動を促進するとともに、地域や大人が関わる機会と方策を拡充し、親等の保護者と地域の大人が子どもを育てる力を養うことができるように推進します。

④ 基本目標：4 やすらぎっこ

親が安心して子どもを育てられれば、子どももやすらぎを感じてすくすく育ちます。親子がやすらぎを感じられる環境には、まちづくり、住まい、安心・安全な暮らしのすべてがその対象であり、ハートのある地域づくりの実現をめざします。このため、公園や公共施設等生活環境にハートを感じられるまちづくりを推進します。あわせて、親子が過ごす場所づくり、子育てネットワークの拡充など、碧南市らしい子育て・子育て・親育ちをめざし、人づくり・仕組みづくりなどを具体的に推進し、未来につなげていきます。

